

# アメリカ教育学会

## 第23回大会プログラム

2011年10月1日（土） 関西大学・千里山キャンパス

---

### 大会日程

- 09：45～ 受付（千里山キャンパス第1学舎5号館E201のち401教室）  
10：15～12：10 自由研究発表（E202教室、203教室）  
12：10～13：10 昼食休憩（シンポジウム関係者の打ち合わせ）  
13：10～13：50 総会（E401教室）  
14：00～16：10 公開シンポジウム（E401教室）  
16：30～18：30 懇親会（凜風館・生協食堂ディノア）
- 

### 大会参加要領

- 1. 受付** 10月1日（土）09：45 から、第1学舎5号館E201教室で。正門から構内のマップ掲示、大会案内掲示に従ってお越し下さい（左手の坂を北へ直進、突き当たりのすぐ右の建物：4頁の図および関西大学サイトのキャンパスマップを参照）。  
\*大きな手荷物は預かります（貴重品を除く）。  
\*受付および手荷物預かりは、13時近くにE401教室に移動します。
- 2. 学会費** 会員で会費未納の方は、年会費（正会員5,000円、学生会員4,000円）を納めて下さい。その場で入会ご希望の方は、入会金（1,000円）を添えて申込んで下さい。
- 3. 大会参加費**（発表要旨集録代を含む） 正会員：3,000円、臨時会員：2,500円、学生会員：2,000円。（会員以外で公開シンポジウムのみに参加される方は無料。）  
○懇親会費：4,000円（学生：3,000円）。会員相互の親睦を深めるため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています（当日の参加受け付けも可能）。
- 4. 自由研究発表** 発表時間は、発表20分、質疑5分（合計25分）。欠席の場合、発表時間の繰り上げはせず、質疑・討議・休憩などにあてます。  
\*会場教室には、AV機器が設置されています。パワーポイント等をお使いの場合は、パソコンを各自ご用意下さい（持参が難しい場合はご相談を）。DVD、VHSも使用可。  
\*発表資料：自由研究発表者は30部程度、シンポジストの方は50部程度を各自でご用意、ご持参下さい。
- 5. 交通** 関西大学サイトの案内をご覧ください。（阪急「関大前」駅・北口を右（東）に出て左手（北）に。すぐ東に右折して正門まで数分：4頁の図を参照。）
- 6. 宿泊** 必要な方は各自ご手配下さい（大阪駅・梅田、新大阪・江坂の周辺が便利）。

**7. 昼食** キャンパス内のいずれかの食堂または近くのレストラン等でおとり下さい（当日、キャンパス食堂マップをお渡しします）。

**8. 理事会の開催** 前日の9月30日（金）16:30～18:30 に、大阪ガーデンパレス（新大阪）で開催します。理事の皆さまには別途、学会事務局よりご案内します。

**9. 前日・当日緊急連絡先**

（サイト上、非公表）

★キャンパス内は禁煙です。喫煙は指定された喫煙場所をお願いします。

---

## 自由研究発表

---

**会場Ⅰ**（E202 教室） 司会：浅沼 茂（東京学芸大学）

10:15 ゼロトレランスからノーイクスキュースへ（その2）

—ゼロトレランスの成果と自己責任という概念の芽生え—

都築 仁美（愛知県立惟信高校）

10:40 道徳教育の再考

—子どもの幸せにつながる道徳教育—

山田 敏子（名古屋学芸大学）

11:05 アメリカの幼児教育における学習基準

—イリノイ州の幼稚園学習基準を中心として—

太田 節子（東京福祉大学）

11:30 現代米国高等教育における学生支援の変遷

小島 佐恵子（北里大学）

---

**会場Ⅱ**（E203 教室） 司会：矢野裕俊（武庫川女子大学）

10:15 20世紀初頭のアメリカ農民と大学拡張

佐々木 保孝（天理大学）

10:40 ホームスクーリングとチャータースクール

西村 史子（共立女子大学）

11:05 アメリカにおける信仰に基盤を置く組織（FBO）と公共サービス

—オバマ政権の新たな取り組みを中心に—

藤村 好美（群馬県立女子大学）

11:30 アメリカにおける株式会社経営の大学・専門学校

—リクルート、奨学ローン、そして政府規制—

鶴浦 裕（文京学院大学）

---

## 公開シンポジウム

◎2011年10月1日(土) 14:00~16:10

会場：関西大学・千里山キャンパス・第1学舎5号館 E401 教室

### 「アメリカの個性化教育の理念と方法を活かす」

---

アメリカの初等・中等教育は近年、NCLB法に基づいて学力の底上げを図る方針がとられてきました。つまり子どもたちの「個人差を小さくする」方向が志向されてきたともいえます。その一方で、子どもたちの個性を捉えて特別な教育ニーズに応じる、「個人差を大きくする」方向も併せて志向されてきたことが見過ごされてはなりません。この「個性化教育」としてくくれる学校教育実践の理念と方法について、最近の動向を異なる切り口から分析して、わが国の学校教育の今後はどう活かしていけるのかという、「日本型個性化教育のあり方」について語っていただきます。

---

#### ●イントロダクション

◇松村暢隆(関西大学教授) (14:00~14:10)

#### ●シンポジスト講演

◇安藤輝次(奈良教育大学教授) (14:10~14:30)

C. A. トムリンソンの個に応じた指導理論

◇池内慈朗(埼玉大学教授) (14:30~14:50)

創造性を育むMI(多重知能)実践

◇野添絹子(放送大学非常勤講師) (14:50~15:10)

認知的個性を活かす学習支援

[休憩]

(15:10~15:20)

◇加藤幸次(上智大学名誉教授) (15:20~15:40)

個別化・個性化の歴史的展開と意義

#### ●総括討議

(15:40~16:10)

(パネリストの補足意見、フロアからのコメント、質疑応答、まとめ)

---

#### ◇大会準備委員会連絡先◇

・大会準備委員長：〒564-8680 吹田市山手町3 関西大学文学部 松村暢隆

E-mail: nobumat<アット>kansai-u.ac.jp (<アット>を@に)

・大会準備委員会事務局：

〒565-0842 吹田市千里山東3-10-1 関西大学生生活協同組合・学会サポート内

TEL: 06-6368-7538 E-mail: society<アット>kandai.ne.jp

\*アメリカ教育学会: <http://www.jaaes.org/> 関西大学: <http://www.kansai-u.ac.jp/>

---

★大会参加ご予約の方にお願  
い★

●大会参加ご予約の方のみ、必ずメールでご連絡下さい。

(経費節約のため返信用葉書は同封していません。メール通信不可能の場合は、葉書で大会準備委員長(3頁に記載)までお送り下さい。)

メール送信先： 松村暢隆(まつむら・のぶたか)

E-mail：nobumat<アット>kansai-u.ac.jp (<アット>を@に)

メール記載事項：

1. 大会に参加する。
2. 懇親会に参加する、または参加しない。
3. お名前(所属)。

メール連絡締め切り：

9月11日(日)を目処になるべく早めにお送り下さい。

\*頂いたメールには返信しません。失礼ながらご了承下さい。

\*現時点では予定不確定でも参加をご検討中の場合は、参加としてご連絡を下さい。

\*メールご連絡後に予定が変わっても、訂正のご連絡は不要です。

\*自由研究発表者、シンポジストの方々も、懇親会参加・不参加についてご連絡下さい。

\*理事の方々も、理事会ご連絡とは別に、大会ご参加の場合はこちらのご連絡も下さい。



(第1学舎5号館は、地図左端「北門」の右=G・1の左の建物)

関西大学千里山キャンパスマップ